

さまざまな仕事や働き方に触れて 将来の自分の姿をイメージ

中学生キャリアフェスティバル



学校教育課
Tel. 71-2461

市は10月17日、穂高総合体育館で市内で事業を行う56の企業や個人事業主のブースが展開した。中学生キャリアフェスティバルを初めて開きました。このイベントは、中学生が安曇野の魅力ある企業などで働く大人の姿や考えに触れることでこれからの生き方や将来働くヒントを探し、大人とのつながりから安曇野に愛着を持ってもらうことを目的にしています。当日は、市内の中学1年生約780人が午前・午後の部に分かれて参加。生徒は、20分間

のブース巡りを3回行った後、輪になって集まり、出展者や他校の皆さんと一緒に感じたことなどの意見交換をしました。
ブースには、製造業や小売業、建設などの企業、市役所や警察、消防などの官公庁のほか、個人事業主やミュージシャンなどの多様な働き方をする皆さんも出展。出展者は、企業や仕事の紹介をしながら、自身の経験や働きがいなどを生徒に熱心に伝えていました。出展した有限会社猪又鉾金工業の猪又悟さんは「働

いているとつらいこともあるが、その中から少しでも面白さを見出すことが大切。働くということにポジティブなイメージを持ってもらえればうれしい」と生徒たちに働く面白さを伝えていました。
生徒たちは、真剣なまなざしでメモを取りながら出展者の話に耳を傾け、将来の自分の姿をイメージしていました。1回のブース回りの終了後、出展者に渡すメッセージカードには生徒たちの気持ちが多く書かれていました。



実行委員の進行とあいさつ 開会式でスタート

開会式



開・閉会式はそれぞれの中学校から選ばれた実行委員の進行で行われました。午前は勝山敦斗さん(三郷中)、午後は大倉紗都さん(穂高東中)があいさつしました。

興味のあるブースを巡って 働く大人のお話を聞きます

企業ブース巡り×3回



話を聞いた後はブースごと メッセージカードを渡します



仕事の楽しみや苦労、どうしてこの仕事をしているかなどのお話を真剣に聞く生徒たち。メッセージカードにはあたたかい声も。

最後に輪になって出展者や 他校の生徒とトーク

ブース前で意見交換



感想や意見を発表しながら、出展者と働き方や生きがいなどの気持ちを共有。

他の学校との初めての学習で刺激になりました。やりたいことをモチベーションに働いている人って素敵。将来本当にやりたいことを探していきたいです。

松本山雅F.Cがサッカー以外に地域活動をしていることを初めて知りました。今日学んだことを将来に生かしていきたいです。

明科中学校
木村 美央利さん 高原 佳祐さん

参加した生徒と
企業の皆さんの
声を紹介します

話を熱心に聞いてくれて、特に高い場所に登る仕事の話に興味を持ってくれたことが印象的でした。私たちの仕事のように社会を支える大人になってもらえるとうれしいです。

中部電力パワーグリッド株式会社
田桐 拓実さん 市村 明那さん 深尾 光希さん

私は中学校卒業後、舞妓を経験した後、チョコが好きだったことから今の仕事をしています。自分の好きなやりたいことを一生懸命追いかければ周りも分かってくれるということを伝えました。

bean to bar chocolate 茶菓
大橋 真優さん

介護の仕事って大変そうだと思っていたけど、話を聞いたら楽しそうだと感じました。これから人にもやさしく生活したいと思います。

三郷中学校
岩淵 悠愛さん 饒平名 乃音さん